

会員数	37,476	(前月比) + 71
郵送	8,747	(前月比) - 99
手配り	26,231	(前月比) + 63

協同基金到達額 2,577,661,000円(8/31現在)
 [前月比 2,767,000減]
 協同基金出資者数 13,161名(8/31現在)
 いのちを守る助け合い募金額 86,329円(8/1~31)



発行
健康友の会 みみはら
 本部事務局組織部
 機関紙編集委員会
 〒590-0824
 堺市堺区老松町2丁58-1
 Tel.072-244-8061
 Fax.072-244-7860
 1部30円

大阪南ブロックから参加したみなさん



全日本民医連 第13回 共同組織交流集会

in 石川

熱意と感動

学んだことを生かしたい

全日本民医連第13回共同組織交流集会が9月4日から2日間、石川県加賀市で開かれました。全国から1800人以上が集まり、健康友の会みみはらからは27人が参加しました。大阪全体では149人でした。

交流集会に参加して

鳳支部 石田 悦司

1日目の記念講演では、全日本民医連副会長の柳沢深志氏が「いのちに寄り添う民医連と共同組織」と題して講演されました。柳沢氏が副院長をされている石川・城北病院の患者に寄り

添った終末期医療の姿が「笑って死ぬる病院」のタイトルでテレビ放映され全国で大きな反響を呼びました。その内容を、父親が子どもに手紙で語る形式で、わかりやすく講演され、その熱意が聴衆である私たちにも、感動として伝わってきました。

2日目は9つの分科会で、それぞれが関心のあるテーマを選ぶのですが、私は「たまり場・居場所づくりの実践の交流」の、第4

分科会に参加しました。そこでは12人の発表者から、各地でのユニークな取り組みや活動が、報告されました。

発表だけでなく、質疑応答も大変活発に行われて、全国各地から参加された方々の、熱気に包まれた2日間でした。

私もここで学んだことを、日々の友の会活動に、いかしていきたいと思えます。

多彩な活動に感動

研修医 佐藤結衣子 木村信之 重留一貴

今回、共同組織交流集会に参加するという貴重な機会を得て、さまざまな経験をしましたので、報告します。

1日目、全体集会に行くバスの手前で「先生！」と呼ばれ振り返ると、以前友の会の青空教室に行った時におられた方でした。その後もずっと声をかけてくださって、夕食交流会でもお酒をついでくださったり、支部の輪の中に呼んでいただいたりました。おかげで友の会の方と交流ができ、友の会以外の方がどうしているかなど、話を聞くことができました。

全体会では各都道府県の

支部から発表があり、それぞれの地域の特色や悩みがあることを知りました。熊本県では地震が計2000回となり、いまだ地震は続いているが全国の人々の援助もあって、復興してきている。しかし、ビニールシートで雨風を防いでいる家も多く、まだまだ問題は多いと話されたことが印象に残っています。

2日目に「夢を実現する事業活動の取り組み」の発表を聞きました。多彩な活動を、各地で実践されていました。

印象に残った話は、ヘルスコープおおさかの「小規模多機能型居宅介護の地域との関わり」でした。地域



満員の全体会

からの苦情に一つひとつ丁寧に対応し、地域に関わりを持ち、知ってもらい情報共有することで苦情が減った、というのは非常に興味深かったです。地域の方が、小規模多機能型居宅介護の施設での催しに参加することで理解が進み、もしかしたらその内お世話になるかもと言われたのは、感じるものがありました。

どの発表でも、多彩な方法で地域に関わっていました。地域の健康を考えると、医療者だけでなく地域での助け合いや支え合いも必要だと考えていました。すでに実践されていたことを、遅ればせながら知りました。参加させていただき、ありがとうございます。

聴診器

診察は問診、視診、触診、聴診、打診から始める。味、臭、嗅診は匂いが重症の糖尿尿病やある毒物中毒は特有な口臭が参考になる。このうち問診は症状、昔かかった病気(既往歴)、のんでいる薬、住環境(居住歴)そして職業歴、仕事に起因する病気があるからだ。どんな時間帯で働いているのかも重要で、三交代のためどついても食事が夜中になる、朝方帰りやれやれと飲酒をして床につく人がいる▼世界保健機関は「健康の社会的決定要因」の中で、職場の経営方針や人間関係のストレスが病気になる欠勤や早死つながる、仕事上の裁量の自由と決定権が低いと心血管系疾患の増加を引き起こすことを示した▼病院・介護施設では医師、看護師始めほとんどの職員は夜勤をする。診療所も在宅患者の変化に備え看護師、医師が夜中も待機している。この分野に限らず長時間、夜間、過酷な環境での仕事は多い。学生が勉強時間を削って働かされるブラックバイトは大問題だ。政府は「働き方改革」を打ち出したが非正規、低賃金、長時間労働がなくならないだろうか。政務活動費不正受給、立場を利用しての現金授受、政党助成金受け取り、こうした議員たちによって国民の労働のありかたが決められてしまっている。黙っているわけにはいかない。(和) 斎藤